

公立甲賀病院

説明書および同意書

患者 @PATIENTNAME 様の シャント治療の実施 について、以下通り説明いたしました。

1. 現在の病状と処置・検査・治療の必要性について

シャント治療（IVR）とは、カテーテル（細いストローみたいなくた）をシャント近くの動静脈に挿入して、詰まっているシャント血管を拡げる治療です。

2. 処置・検査・治療の方法

穿刺部（原則としてシャント近傍の静脈部分ですが、他の部位が選ばれることもあります）を局所麻酔後、カテーテルと呼ばれる細い管を動脈内に挿入して、目的とする血管の撮影を行います。この時超音波やCTを確認に為に用いる場合もあります。

3. 処置・検査・治療に伴う合併症と危険性、および緊急時の処置について

頻度的には非常にまれなものも含めて、以下のような合併症の可能性があります。現在の疾患の治療の上で必要な検査、手技です。緊急時の処置は勿論万全を期して施行しますので、ご了解下さい。

- 血管造影手技に伴う合併症として、穿刺部の血腫形成、感染、血管損傷による出血等
- 使用する造影剤による造影時の熱感あるいは疼痛、ショック等
- 局所麻酔薬（キシロカイン）に対するアレルギー反応
- 非常に稀ですが、急性心不全、血管内注入薬剤による副作用、血栓の移動による肺塞栓等

説明日時 年 月 日

説明場所 _____

説明医師 診療科 _____

氏名（署名）_____